日本キリスト教団東金教会〔２９〕

2019年7月14日聖霊降臨節第６主日礼拝

年度目標　《キリストに根を下ろして生きる》

聖　　句　キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って…　コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	朴	
奏楽	中村	
受付	三枝	
案内	梅田	
名札係	藤田	
礼拝感謝祈祷	王	
〃　〃	寺内	
前奏	中村	
讃美歌 23	一同	
使徒信条 566	〃	
交読文 26	司・会衆	
主の祈り 564	一同	
聖書 ガラテヤ書１章３節～５節	司会者	
祈祷	朴	
新聖歌 176	一同	
み言葉の伝え	中村	
〈キリストの恵みと平和〉		
讃美歌 228	一同	
献金		
礼拝感謝	王	
〃　〃	寺内	
報告	朴	
頌栄 541	一同	
祝祷(派遣)	中村	
後奏 新聖歌58	聖歌隊	

【集会案内】

聖書研究祈祷会７月１０日(水)午後7:30～
早天祈祷会月～金7:00(土/日/祭除く)
定期長老会本日礼拝後
聖書輪読会7月２１日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会7月２１日(日)10:25-10:30

【報告】

☆明７月１５日(月・海の日)「東総分区教会の交わり」がメーヤー館でもたれます。今年は聖書翻訳の歴史および共同訳聖書についての学びです。お覚え下さい。又、自動車でご一緒される方は中村　　姉まで申し出下さい。

☆７月１９日(金)ときがね幼稚園第一学期終業式があります。今学期もご加祷戴き、無事ここまで来ることができました。感謝致します。しかし保育園は続きますし、幼稚園も夏期お預りが継続して持たれます。続いてご加祷下さい。

☆今年の教会学校１泊夏季学校は７月２３～２４日長柄町千葉市少年自然の家」で、１日夏期学校は７月２６日(金)教会で持たれます。ご加祷下さい。

【分区・支区・教区報告】

○東総分区信徒の交わり会
　７月１５日10:30～　於・メーヤー館

【7月14日～７月20日誕生者】

○勝田　兄
※おめでとうございます。互いに主に繋がる枝々として祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(7/7)	13	38	51
聖研祈祷会(7/10)	3	3	6
聖書輪読会(7/7)	2	3	5
教会学校(7/7)	5	28	33

早天祈祷会			
日	男	女	計
7/8	1	1	2
7/9	1	1	2
7/10	1	1	2
7/11	1	1	2
7/12	1	2	3

主日礼拝献金(７/７)……３０,７８０円
教会学校献金(７/７)……９,３２０円

【今日のメッセージ】

題　［キリストの恵みと平和］
聖　書　ガラテヤ書１章３節～５節
1.キリストの恵み
2.キリストの平和
3.キリストの贖い

【次週(７月２１日)礼拝案内】

題　〈回復〉
聖　書　ルカによる福音書7:11～17
交読文　２７
讃美歌　７番　３６６番
新聖歌　３３０番

【次週(７月２１日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	…	朴
司式者	…	藤田
奏楽者	…	中村
受付者	…	津久井
案内者	…	武田
名札当番	…	井上
礼拝感謝祈祷	…	梅田
〃　〃	…	土屋
cs お話し	…	藤本
会堂清掃者	…	薬師寺
〃　〃	…	
花係	…	猪野
看板書き	…	藤田

【聖書から】

人々からでもなく、人を通してでもなく、イエス・キリストと、キリストを死者の中から復活させた父である神とによって使徒とされたパウロ、…。

ガラテアの信徒への手紙一章一節

パウロは何者であるか。彼は自分を何者と理解し、規定しているか。そのことを考えるとき、彼の自己規定は世の人と大いに異なっていたことを思う。世の人は多く、自分は「人々から、あるいは人を通して」今の自分が存在すると思っている。自分の育ち、自分の今ある現在は様々の人の織りなす関係性の中でのことであり、それに尽きると云うのがその自己理解である。パウロとて彼の今あるのは彼と関わりを持った多くの者の存在を否定している訳ではない。しかし彼は、今の自分が在うるのが彼の自己理解であった。彼の出生、彼の育ち、彼の人格の形成、その他諸々の彼を彼たらしめているもの、それは表面上は人によるのかも知れない。しかし彼に人を送り、関わりを持たせられた背後に聖書の神がおられ、彼と出会い、時至ったとき、神は彼の前面に現れ、彼の人生を決定付けた！　それが彼の自己理解であった。彼は多くの者が経験し得ぬ神との出会いを経験し、彼という存在の総括者が神であることをその人格に刻み付けられ、神の示される道を歩んだのであった。そうであるから彼には神は疑いもなく実在の御方であり、彼の選択、彼の決定、彼の歩む一歩一歩は神の示しの中での一歩であった。世に生きながら世の人とは決定的に異なる生を生きたのである。そしてそのような生は彼の主たるイエス・キリストもそうであったのであり、又、彼らに続く私達信仰者もそのように生きることを求められ、そのような生が如何に世と異なろうとも、その生涯は保証されているのであるそのことを思うとき私達は果たしてこのように云われているかが問わるる。主のように、パウロのようにはできない。この御方に自分の将来を委ねる生を生きたいものである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。